

くらしの中の美術

— 昭和後期の美術 —



「冬木立」東山魁夷・画



「花と果物」中川一政・画

会期:平成 27 年 3 月 31 日(火) - 5 月 24 日(日)

開館時間:午前 9 時 - 午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

休館日:月曜日(祝日のときは開館)、祝日の翌日(土日祝日のときは開館)

入館料:一般 300 円(20 名以上の団体の場合 250 円)、高校生以下無料

※「こまつミュージアム・パス」使えます。1 週間券 500 円 年間券 1500 円

小松市立本陣記念美術館は、小松市出身の本陣甚一氏より、氏が収集した美術コレクションが寄贈されたのを機に平成 2 年に開館しました。氏の亡くなった後、平成 20 年と 26 年に、ご遺族よりさらに約 750 点の作品の寄贈を受け、現在は約 950 点を数える優れたコレクションとなっています。

本陣甚一氏は、昭和 18 年(1943)に北國銀行取締役役に就任されて以降、銀行経営の重責を背負いながら多忙な毎日を送られました。その中で美術に触れ心の安らぎを感じられ、積極的に美術品を収集されました。当時の日本は、「戦後」から立ち上がり、目覚しい経済発展を遂げる時期にあたり、人々の生活の質は格段に向上しました。芸術文化は、「豊かな生活」の象徴とされ、大型の美術展の開催や美術館の開館が相次ぎました。住宅も日本家屋から洋風住宅へ急速に変わり、家の中に常に美術品を飾る生活が広がりました。このたびの展覧会では、憧れの「美術のある暮らし」を彩った、人気作家の作品 42 点をご紹介します。



「薔薇図」梅原龍三郎・画



「鉄描赤絵兎文鉢」藤本能道・作



「赤絵遊魚文花瓶」四代三浦竹泉・作

《出品作》

日本画	「静物」	青木 大乘・画	昭和 28-54 年
日本画	「蘭」	杉山 寧・画	昭和 33 年
日本画	「冬木立」	東山 魁夷・画	昭和 34 年
日本画	「冬を行く路」	山本 丘人・画	昭和 33-41 年
油彩画	「薔薇図」	梅原 龍三郎・画	昭和 41 年
油彩画	「花と果物」	中川 一政・画	昭和 41 年
油彩画	「本陣甚一氏像」	高光 一也・画	昭和 46-55 年頃
陶磁	「鉄描赤絵兎文鉢」	藤本 能道・作	昭和 39-43 年
陶磁	「赤絵遊魚文花瓶」	四代三浦 竹泉・作	昭和中期-47 年
陶磁	「海鼠釉花瓶」	内田 邦夫・作	昭和 39 年
陶磁	「黒釉錆流描皿」	濱田 庄司・作	昭和 30-55 年頃
			ほか

ギャラリートーク：4 月 11 日（土）、5 月 9 日（土）、いずれも午前 11 時から、午後 2 時から。

アクセス

- ・ JR 北陸線小松駅より徒歩 15 分、又は市内循環バス乗車市役所前下車徒歩 1 分。
- ・ 北陸自動車道小松 I.C. より約 7 分、小松市役所周辺駐車場より徒歩 2 分。

小松市立本陣記念美術館

小松市丸の内公園町 19 番地、芦城公園内 TEL0761-22-3384

<http://www.kcm.gr.jp/hakubutsukan/>